

ときかわお葬式なんでも相談室

おじさんの独り言

2019年 令和 元年 10月 秋号 Vol.45

発行
総合葬祭・想々ホール
合資会社 ときかわ
静岡県三島市中央町3-24
電話 055-975-0182
Fax 055-973-3011
編集 日本葬祭アカデミー
発行 令和元年2019年10月



授業風景

お葬式が大学科目に！ 若い人たちもお葬式や お墓・供養の勉強

東洋大学では、秋からの後期授業に『葬祭』をテーマとした科目を新設しました。3年生を対象の専門選択科目で『葬祭ビジネス論』という科目です。15回の講義、最後に試験。その履修で2単位となります。ビジネス論という位置づけですが、お葬式やお墓の意義や意味、お寺のかかわり、またその後の供養などについても、文化と実務の観点から勉強します。講師は日本葬祭アカデミー教務研究室の二村祐輔氏が担当します。二村氏は『専門科目として、お葬式に関する大学科目です。20代の生徒が、現在140名以上、この科目を選択してくれました。』という。

■『葬祭』の意味

『葬祭』というのは、葬式と先祖祭祀（お墓参り）を合わせた言葉と捉えてください。

これまで葬儀やお墓のことは、大学では考古学や民俗学、宗教学などの一部分の観点からしか講義されてきませんでした。また家族論、社会論としても触れられていますが、葬祭だけを正面において科目化されたことはありません。

それだけすそ野が広く、人の生き死に関しても「哲学」的な分野でもあり、あるいは看取りや医療の臨床的な実務も関係した、たいへん広くて、深い背景を持つた分野でもあります。

「エンディングステージ」として、行政から各士業、介護、保険、医療、金融機関など幅広い分野で業種のかかわりを示しています。事前準備や事後対応なども含めて、高齢社会における重要な課題として認識しています。



■何を学ぶか？

人生において、広い範囲の課題を投げかけている分野ですから、対処・対応においてどのような手法や選択肢があるのか、これを学ぶことは重要です。

けれども科学や工学のように理論や実証、また合理性だけでは済まされない、メンタルな要素が多いのが葬祭学の特徴です。知識や知恵を身に着ける前に、二つの「かんせい」を授業で提唱しています。

一つは「感性」です。これは感じる力、つまり情緒や情感といった私たちの心情です。

四季の移ろいや死者に対する悲しみ、追悼なども微妙な心の働きです。そこには日本人特有の「靈魂観」や「他界観」がありますね。これを学びます。

もう一つは「慣性」です。これは物理的な用語ですが、変わることなくそこにあり続ける性質のことですが、時代や体制などが変化しても、変わることのないもので、例えば「習俗」や「慣習」のようなものといえます。慣性は「葬祭」の中に、感覚として、作法として、またしきたりとしても、今でも多数残存しています。

実はそこから日本という国の基層文化やその豊かさが見えてきます。ですから「葬祭」は決して利便性や合理性のみで、安直に変化させてはいけません。そのための教育が始まったことをご報告しておきます。

ときかわエンディング生活塾 2019



11月18日(月)10時～11時30分

会場 三島商工会議所 4階 会議室 参加費 無料
(原則申込み・当日受け付けも可能)

参加者にオリジナル小冊子贈呈 お葬式なんでも相談室

セミナーお申込み・お問い合わせは

ときかわ

電話 055-975-0182

他では聞けないお葬式セミナー

今回のテーマ

檀家・菩提寺
戒名と永代供養
その意味と実務

講師 二村祐輔氏

三島 ときかわ

検索

ホームページ <https://www.tokikawa.com/>
メール ojizousan7700@yahoo.co.jp

第19回

◆葬祭学入門

心にしみる折々のしきたり

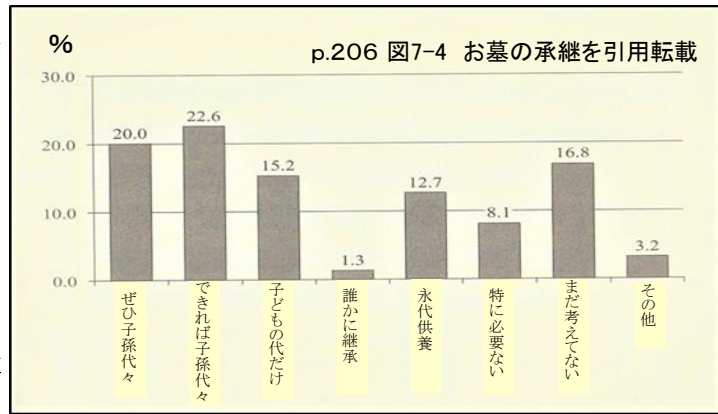
誰とお墓に入るか？

左のグラフは、「誰とお墓に入りたいか？」という安藤喜代美 著2013年『現代家族における墓制と葬送』（学術出版会）から引用転写させてもらいました。

これを見ると子孫代々のお墓という希望があわせて42.6%あります。

伝統的な家制度が希薄になつたとはいえない意識は変わつていません。そこにはお墓の意味と先祖の考え方が反映されています。

子供の代だけ承継できればという答えも15%ありました。



現代では子孫代々といつても、その範囲は自分が知っている祖父母と孫くらいまでの血縁でしょう。「先祖観」は大きく変化しています。この調査で気になるのは、「まだ考えていない」（16.8%）という答えです。これは考えたくない、という回避意識や、わからないという思考拒否も含まれると思われます。

今、空き家同様、墓の放置や無縁化は深刻な社会問題となるでしょう。

ぜひ元気な時にこそ、お墓をどうしておくかを、考えておかねばなりません。

シリーズ ワンポイント お葬式や供養の実務知識

緊急報告！ 改正民法3 故人の預貯金

監修：日本葬祭アカデミー教務研究室

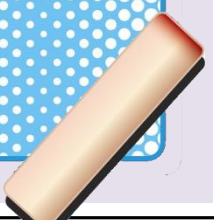
今年7月1日の「改正相続法」施行で、故人預貯金の引き出しの取り扱いが変わりました。

簡単に言えば、これまでは相続が確定するまで、故人預金は凍結されてしまいましたが、改正後は金融機関への申し出により150万円を限度として、故人預貯金を相続人が単独で引き出すことが可能になりました。

これにより逝去直後の葬儀や医療の費用、また当座の生活費に充てることができます。引き出すためには、自身が相続人であることがわかる戸籍謄本などの提出が必要です。

またここでの引き出しはあくまでも仮払いで、後日他の相続人らと相続が確定した時に清算されます。

詳しくは、かならず有資格者（行政書士・司法書士・弁護士など）に相談してください。



お地蔵さんの独り言



猛暑の後は台風続きで、各地で被害が出ました。行政や制度が頼りにならないことも身に染みてわかりましたね。

自然災害とはいえ、その後の対応は個人個人ではとても追いつかないこともあります。まして高齢者の単身世帯は全くとお手上げです。今年は東日本大震災から8年目になり、やつと三陸リアス鉄道が全線開通になりました。現地では観光で復興を目指しているようですが、無理です。沿線は津波でほとんどが全壊した地域です。そこには国家事業としての大きな展望もなく、全く情けない現状です。施策の多くが対処療法で、膨大な埋め立てや、視界を遮る広大な防波堤建設などが延々と行われています。多くは土木的手段。相変わらず利権のおいを感じます。相変わらずで賽の河原に、石を積みような無限の無意味な浪費をしているように感じます。

私たちはお地蔵さんは本来、そのようなところで救済をするわけですが、そのためには素朴な信仰心が前提となります。あまりに合理的で、経済優先の社会が、私たちの力を借りなくともよいと、傲慢な判断をしたのかも少し残念。



もしもの時はフリーダイヤル 0120-100-182

- 安心の葬儀社 ときかわ
- ◆個人情報管理適格事業所であること！
 - PIP認証（プライベート インフォメーション プロテクト）取得
 - ◆市民向けの情報発信を継続的にしています！
 - 商工会議所での定期セミナーや会報紙発行（本紙）
 - ◆信頼のおける事前相談が気軽にできます！
 - 知識豊富な葬祭カウンセラー認定者が応対
 - ◆病院搬送からご遺体保管まで初期対応も安心です！
 - 専用の斎場ホールを所有・家族葬から一般葬まで



葬儀社選択の要は PIP認証
「個人情報の守秘管理」の適格表明！



三島市役所となり
おじょうさんが目印

ときかわ